

夏だ！海と地域医療体験ツアー in 高浜2023 実績報告

【概要】

令和5年7月26日から8月20日まで、地域医療に関心のある医療系学生（医学生・看護学生など）や研修医を対象とし、高浜の地域や海を楽しみながら地域医療実習を体験できる企画を、地元観光協会や若狭和田ライフセーバーの協力のもと、高浜町が福井大学医学部に設立している寄附講座「地域プライマリケア講座」と高浜町の共催で開催しました。

また、実習内容については「JCHO若狭高浜病院」と「和田診療所」での合同実習として実施しました。

【開催日程及び参加人数】

コース	期間	参加人数	備考
コース①	7月26日(水)～7月30日(日)	4名	
コース②	8月2日(水)～8月6日(日)	1名	
コース③	8月9日(水)～8月13日(日)	6名	
コース④	8月16日(水)～8月20日(日)	2名	

○研修医3名、医学生4名、看護学生6名 計13名
○上記の参加者に加えて、救護所ボランティア2名（※過去のツアー参加者から自主的に参加、医師1名・看護師1名）
○各コース最大6名受け入れで実施

【実習の主な内容】

曜日	内容	備考
水曜日	オリエンテーション・地域医療、家庭医療レクチャー	
木・金曜日	外来・病棟実習等・在宅医療実習等	JCHO若狭高浜 和田診療所
土・日曜日・祝日	救護所での救護ボランティア体験（JCHO若狭高浜病院・和田診療所スタッフ指導、若狭和田ライフセービングクラブ協力）	若狭和田ビーチ救護所
フィードバック	指導医といっしょに、実習記録をもとに参加者全員でフィードバック	実習終了後／全日程（毎日）

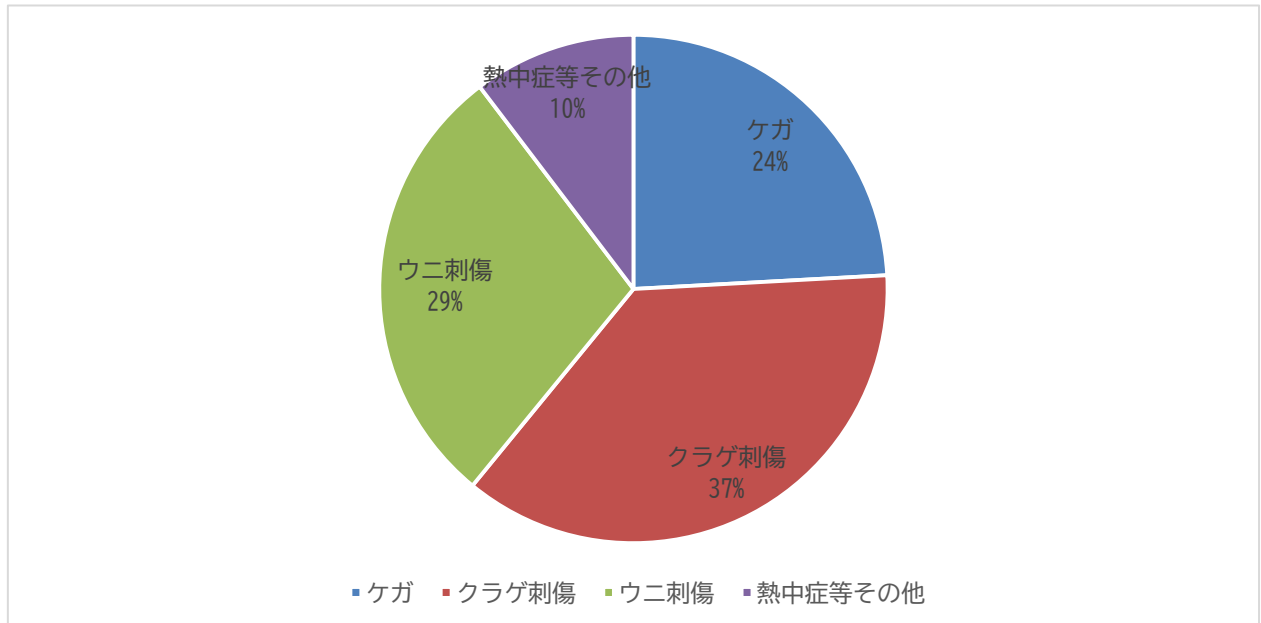
宿泊は地元の民宿にお世話になり、空き時間にはBLUE FLAG（ブルーフラッグ：※1）を取得した若狭和田ビーチのきれいな海を楽しみました。



【海と地域医療体験ツアー2023 救護所ボランティア実績】

岩場で足を切った方、クラゲに刺された方、ウニのトゲが刺さった方など、87人の患者さんが救護所を利用され、若狭高浜病院、和田診療所の医師（研修医含む）、看護師、過去のツアー参加者の指導のもと、参加者が主体的に適切な処置を行うとともに、各種レクチャーを実施しました。

救護所対応内訳（計87人）※救護所において、本ツアーで対応した人数のみを集計



【2023年参加者の「声」】

- お世話になりました。行政や住民、医療との連携がうまくいくヒントを学びに高浜町へ来たのですが、とても興味深く勉強になりました。日々の診療に生かしていきます。この度はありがとうございました。

- 五日間、本当にありがとうございました。私は今まで地域医療を言葉でしか知りませんでした。このツアーを通して患者さんが地域の先生に対して持つ信頼の大きさ、それと同時に先生も患者さんの生活までを考えて診察している姿勢を見て、地域医療が地域の健やかさにとても関係しているのだということがよくわかり、とても貴重な体験となりました。毎日有意義な勉強を提供してくださり、本当にありがとうございました。

- 高浜町のまちづくりへの取り組みが印象的でした。もっと地域医療を勉強して将来、自分の地元でもこのような取り組みができればいいなと思いました。参加するメンバーも知らず、行ったことのない場所だったので、最初は緊張しましたが、一緒に訪問診療に連れて行ってもらったり、病院実習をするなかで仲良くなれました。民宿に戻ったあとその日あったことの見聞交換をすることで様々な考え方を知ることができ面白かったです。またこのツアーで会った医師や医療従事者の方々とお話をさせていただきモチベーションに繋がりました。普段の生活圏では学べない多くのことを吸収でき、私にとって忘れられない経験になりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

- 多くの貴重な体験ができる機会を作ってください、ありがとうございました。ご指導いただいた先生方の熱い思いがとても印象に残っています。全国各地からの参加者との交流で楽しい思い出を作ることでもでき、充実した5日間でした。本当にありがとうございました。

- 実りある5日間でした！海も山もある高浜町は人口こそは少ないけど、地域みんなが明るくて医療や産業などで人と人が繋がってコミュニティができているのがすごいいいなって思いました。福井県にはとても行くのが遠くて頻回には行くことができないけど来年も参加したいです。

- 今回、3日間ボランティアさせていただき、本当に良い経験でした。医療手前の応急処置の大切さをとても感じました。みんなで1人の患者さんを囲んで対応するのがとても楽しかったです。

- すごく勉強になったし、高浜町の人たちがみんな優しくてすごくほっこりしました。いい人たちに巡り会えて本当によかったし、いい思い出がたくさん作れて参加してよかったなあと思いました。

- 医療は患者さんの治療をすることはもちろん大切だが、患者さんがどのような思いで病気と向き合っているのか、患者さんが医療に求めているものは何か考えて関わるのが大切だとわかった。

- 素敵な仲間と巡り会うことができ、憧れの先生も出来たため、人生における良い経験になった。

- 医師の先生方が常に気にかけてくださり、新しい知識をたくさん学ぶことができました。出会った方々が全員優しくて、とっても楽しい5日間でした。医師と地域の人々とのつながりも見ることができ、地域医療を肌で感じることでよかったです。
- ツアー参加者以外にも、和田診療所の方々、高浜病院の研修医、地域の方々など様々な人と交流することができ、いろいろな価値観に触れて刺激となった。
- 福井大学に入学するにあたり、地域医療を興味対象として挙げる人は多いが、特に医師が不足している嶺南地域の医療の裏側を見たことがある人は少ないだろうと思う。私自身、嶺南各地域の診療所や病院にお世話になったことは何度もあれど、そちらで勤務させていただくイメージは漠然としたものだった。今回のイベントを通して高浜地域の医療に直接触れられただけでなく、特別養護施設見学やACP説明から医療の本質について考えるきっかけにもなった。同じくツアーを申し込んだ仲間と議論を交わし、感性を共有する中で学ぶことも多くあった。このツアーで出会った方々から嶺南地域の温かさを感じ、地域医療の志を改めて強めることができた。この経験は忘れず、医師になった後も初志として大切にしたいと思う。
- 人との繋がり温かさを感じることができました。貴重な経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

【これまでの参加者の「声」】

「地域医療の現場を実際に見ることで、理解を深めることができた。」

「地域医療がどのように行われているのか、福祉とどう連携しているのかを現場で見ることができた。」

「地域の人と生きることの大切さを学んだ。」

「海の綺麗さに驚いた。」

「学びも遊びも盛りだくさんで楽しかった。」

「地域自体の魅力、人の優しさ、医療者・介護スタッフ・住民の方々との絆の強さを五感で感じることができた充実した5日間だった。実際に行かないと分からない医療者としての心構えや理想の医師像を考える貴重な経験となった。」

「土日の救護所では、ライフセーバーの皆さんともたくさん交流ができた。」

「漠然としていた地域医療や診療所のイメージが確実なものに変わった。」

「同じ民宿で生活することで様々な話をすることができ、仲良くなることができた。」

「学校での座学や実習では学べないことをたくさん学べた。スタッフの方々も研修中に気さくに話しかけてくださり、質問しやすく、学びやすい雰囲気だった。」

「他校の友人もでき、地域の暮らしを見ることができたのはもちろんのこと、地域で問題となる医師不足や高齢化について考えられたこと、患者さんや利用者さん一人ひとりに合った治療とサービスを提供できる良い点にもたくさん直面できたことがとても良い経験になった。」

「常に一人の人の心理や社会にも目を向けて、その方に合ったものを提供できるようになりたいと感じた。そのために、医療者同士、医師と患者さん、そして多職種の方々としっかり連携を図り、信頼関係を作り上げようと思う。」

「5日間、寝食を一緒にすることで、今日の出来事や地域医療について話すことができ、とても有意義な5日間となった。」

「今まで漠然としたイメージだけだった地域医療を具体的にみることで、たくさん学ぶこと

た。」

「将来、家庭医療をやっていく勇気と志を与えてくれた。」

「家庭医療学で大切となる多くのことは、他の科でも大切な事だと思う。この気持ちを忘れず、大学病院の実習や臨床研修に臨みたい。」

「勉強、遊びと盛りだくさんなイベントだった。」

「地域医療について万遍なく学べて、海でも遊べて本当に素敵なプログラムだった。」

「研修医の先生方ともたくさん交流出来て良い経験となった。」

「フィードバックの時間に、先生方からコメントを頂けるのがとても良い学びとなった。」

「5日間の中で、様々な種類の実習ができて良い経験となった。」

「救護所ボランティアでのライフセーバーとも交流も楽しかった。」

「最初のウェルカムレクチャーをはじめとした先生方のお話がとても楽しく勉強になった。」

「医学生、看護学生と混じっての地域医療研修は、色々な気付きがあって良い刺激となった。」

「絶対に戻ってきたい場所となった。」

「大学病院の実習では経験出来ない、患者さんと地域行政の密なつながりの中で行われる医療を経験できて良かった。」

「海ならではのトラブルの初期対応が学べて勉強になりました。日中の海に初めて行ったので、海も楽しかったです！」

「患者さんと先生の距離が近く、先生の患者さんに対する接し方がとても勉強になった。訪問診療がない日であったのに、アポを取ってくださり実際に見せてもらえてうれしかったです。」

「普段は話すことの無いような人とコミュニケーションをとったり、した事の無い応急処置をすることができた点がよかったです。」

「訪問診療では、地域の人との関わり方や生活場所の様子を実際に見ることができて新しい学びがたくさんあった。」

「スタッフの方々が明るいいし、優しいし、患者様と親身になって話しているのが印象的でした。」

「先生たちが優しく色々教えてもらえたとし、お昼ご飯も一緒に食べることでよかったです。実際に働く看護師さんの話も直接聞くことができてよかったです。」

「ひとりひとりの振り返りに対して丁寧に返答してくださって嬉しかった。みんなで考えを共有できる時間があることで新たな考えが浮かんだ。」

「今までの実習の中で一番対応の良い場だった。」

「カンファレンスや回診に参加させていただき、貴重な経験ができました。回診では色々な知識を教えていただき、面白かったです。」

「訪問診療に同行し、高浜町にいる通院が困難な患者さんの生活状態と、それに向き合う医師看護師の仕事を目の当たりにすることができた点が非常に勉強になった。」

【最後に】

コロナ禍以前と同等の参加人数とはなりませんでしたが、参加者や関係者の皆さま方の多大なるご理解、ご尽力を賜り、本年のツアーを開催することができました。

地域医療への理解の促進、地域医療・プライマリケアに必要な、患者中心の医療、医師の責任性、チーム医療についての理解を提供できたと考えます。さらに、地域医療に対するモチベーションを高め、地域医療を目指したい者を増やすとも考えられました。JCHO若狭高浜病院や和田診療所スタッフも様々なことに気づかされ、学ぶことができました。地域にとって有益な効果があったと感じています。

また、ツアーで知り合った参加者同士の関係は貴重なもので、今後もこのような交流を提供し続けたいと考えています。

今後も出来る限り多くの方のご意向に添えるよう、スタッフ一同尽力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年のツアーも多くの方のお力添えなしには成功し得なかったという確信のもと、ここに改めて御礼の意を表したいと存じます。本当にありがとうございました。

【参考】

※1：BLUE FLAG (ブルーフラッグ)



世界約50ヶ国・約4,000ヶ所で取得されているビーチ・マリーナの国際認証です。取得するには、4項目33の基準が定められており、厳しい審査をクリアしたビーチ・マリーナにのみ「優れたビーチの証」として世界に認定されます。(毎年更新) 高浜では、美しい海を次の世代へ残していくために、「100年後もキレイな海を子どもたちへ」を合言葉に取り組んでいます。

救護所ボランティアを実施する若狭和田ビーチでは、2016年にBLUE FLAGをアジアで初めて取得し、本年で7年連続取得をしています。

